



## はじめに

### さらなる「おやまブランド」の創生、 そしてプライドの創生



小山市は、競泳の萩野公介選手、柔道の海老沼匡選手をはじめとする全国・世界を舞台に活躍する優れた「人」、2012年、世界のラムサール条約に湿地登録された渡良瀬遊水地をはじめとする「水と緑と大地」の豊かな「自然」、2010年、世界のユネスコ無形文化遺産に登録された本場結城紬をはじめとする古い「文化と歴史」を有し、特に戦国の乱世に終止符を打ち、泰平な世、徳川幕府三百年を決定づけたといわれる天下分け目の軍議「小山評定」の開かれた「開運のまち」であり、東京圏からわずか60kmの新幹線の停車する鉄道・国道共に交差する交通の要衝であり、今後も、大いに発展する可能性を有する栃木県第二の「南都」です。

小山市では、これらの豊かな自然と人々の高い技術によって生み出される産品をブランド化し全国に発信していこうと、県内に先がけて、2002年より7分野に亘る「小山ブランド」の創生運動に着手し、その総合的展開の指針とするため2007年に「第1期おやまブランド創生・発信推進計画」を策定し、2014年3月に改定した「第2期計画」が2018年を以て終了することから、このたび、計画の検証を行い、近年の社会情勢の変化や取り組み状況の検証結果を踏まえ、更なる「小山ブランド」の創生を推進するため、第3期計画を策定することといたしました。

この5年間に小山市では「おやまブランド」が更に発展し、また、世界に誇る、新たな「小山市の宝」が誕生しています。

まず、スポーツの分野では2016年リオデジャネイロオリンピックで競泳の萩野公介選手が金・銀・銅の3個のメダルを獲得し、柔道の海老沼匡選手が二大会連続で銅メダルを獲得するなど2人に代表される多くの若い力が活躍しています。

今や、小山和牛は、海外に輸出される栃木和牛の半分以上を占め、小山市のはとむぎは、2018年の内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）に選定され、実証研究の結果、様々な健康効能が示唆されたことから、今後の更なる知名度向上が期待されており、また、環境保全が進む渡良瀬遊水地では、コウノトリの「ひかる君」の長期滞在が実現し、さらに、小山原産の思川桜は、里親制度により「2千本桜」となるなど、地域の魅力のブランド化及び新たな地域資源創出への取り組みは着実に進展を続けております。

第2期計画では、現在、77品目の「おやまブランド品」が認定されており、「道の駅思川」を発信拠点として、市民のプライドを創生してまいりました。

第3期計画の策定にあたっては、市内外における「おやまブランド」に関する認知度やニーズを的確に把握するために、市民及び市外居住者を対象としたアンケート調査を実施し、現状を踏まえ、7つのブランドの体系や、施策事業の見直しを進め、今後の展開方策について検討いたしました。

小山市は本年、市制施行65周年を迎えます。また、新元号「令和」が始まります。この記念すべき節目の年に、第3期となります「おやまブランド」創生・発信推進計画を策定し、さらに、「開運のまちおやま」を大きく全国に発信してまいります。

結びに、第3期計画の策定にあたり、「小山ブランド創生協議会」の委員の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力いただいた方々など計画立案に際しまして貴重なご意見、ご指導をいただきましたすべての方々に感謝し、お礼を申し上げます。

#### 【この5年間の実績】

- |             |   |
|-------------|---|
| 2014（平成26）年 | 小山市スポーツ都市宣言<br>第1回ツールドおやま開催   |
| 2015（平成27）年 | 東洋経済新報社発表の「第22回住みよさランキング」県内<br>1位   |
| 2016（平成28）年 | 新小山市民病院オープン<br>キッズランドおやま、本場結城紬クラフト館がロプレにオープン<br>リオ五輪で競泳の萩野公介選手が金・銀・銅メダル、柔道の<br>海老沼匡選手が銅メダルを獲得 |
| 2017（平成29）年 | 小山市を本拠地とする栃木ゴールデンブレーブス誕生  |
| 2018（平成30）年 | 桜の里親、2千本達成<br>健康長寿はとむぎ100才を目指すプロジェクト始動<br>コウノトリ「ひかる君」長期定住                                     |
| 2019（平成31）年 | 間々田のじゃがまいた、国の重要無形民俗文化財に指定   |

2019（平成31）年3月

小山市長 大久保 寿夫